Ⅵ．平成１９年度主要事業

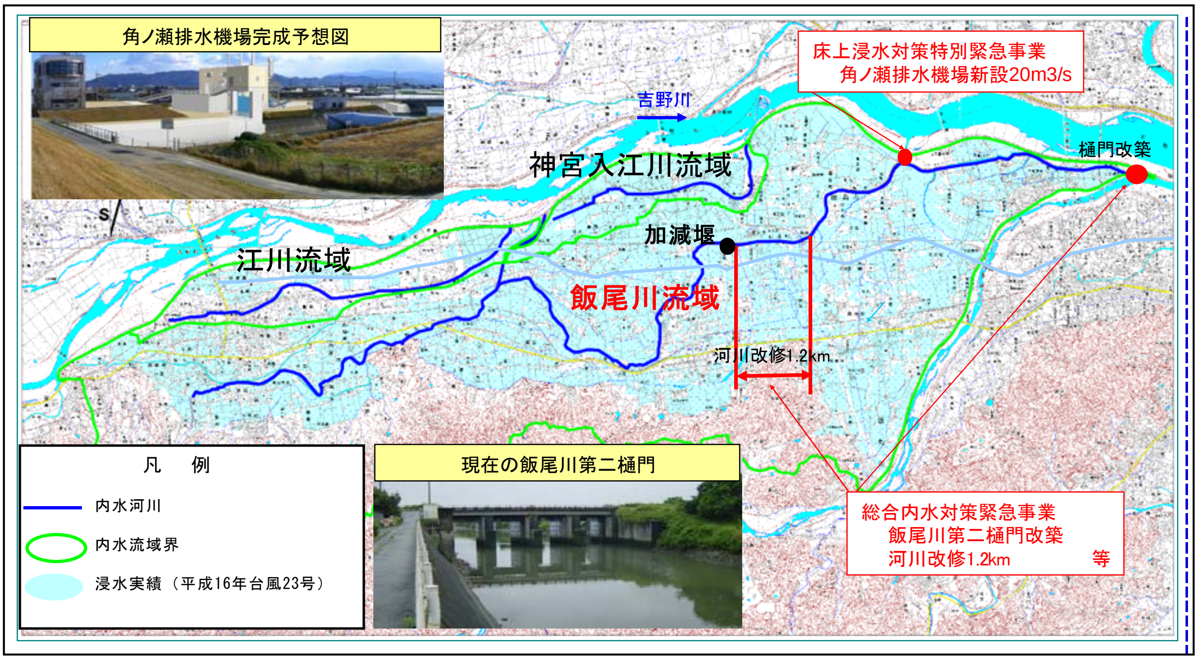
１．徳島県

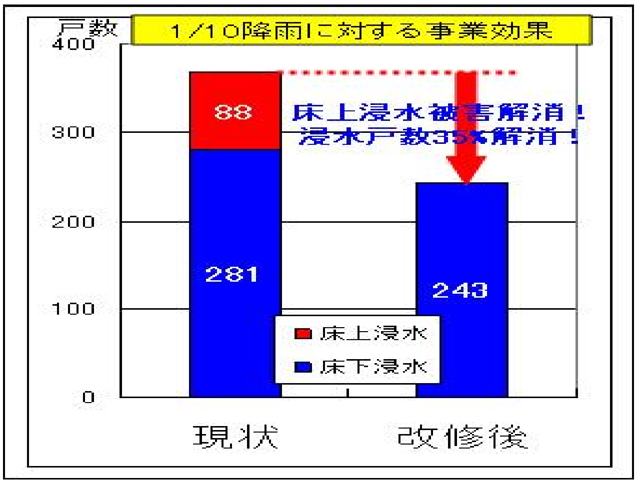
■飯尾川床上浸水対策特別緊急事業の推進（直轄）、飯尾川総合内水対策緊急事業（補助）の促進

吉野川の飯尾川流域で頻発する内水被害を軽減させるため、平成 16 年度より角ノ瀬排水機場新設事業（直轄）に着手するとともに飯尾川河川改修（補助）を促進してきました。

平成 18 年度より、頻発する内水被害を早期に軽減させるため、角ノ瀬排水機場新設事業(20m3/s)を「飯尾川床上浸水対策特別緊急事業（直轄）」として新規着手し平成 20 年度までに完了させるとともに、飯尾川の河川改修についても、「飯尾川総合内水対策緊急事業（補助）」として加減堰下流の河川改修を平成 22 年までに完了させることにより、頻発する内水被害を早期に軽減させます。

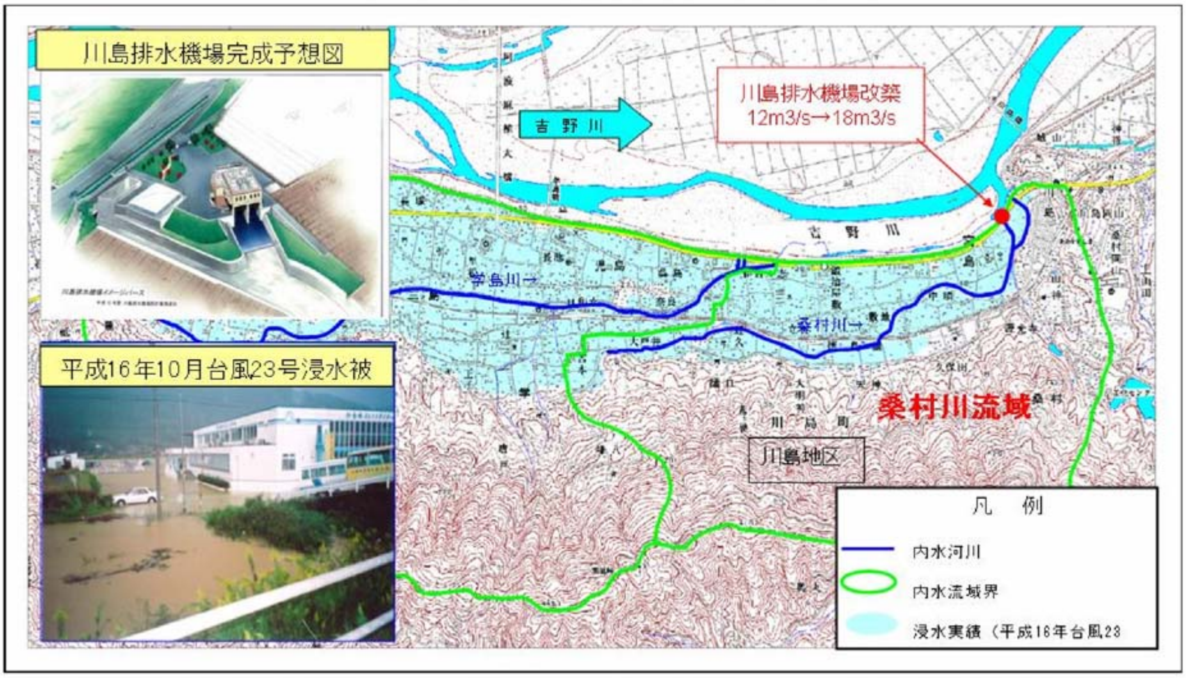
吉野川/飯尾川流域内水対策位置図





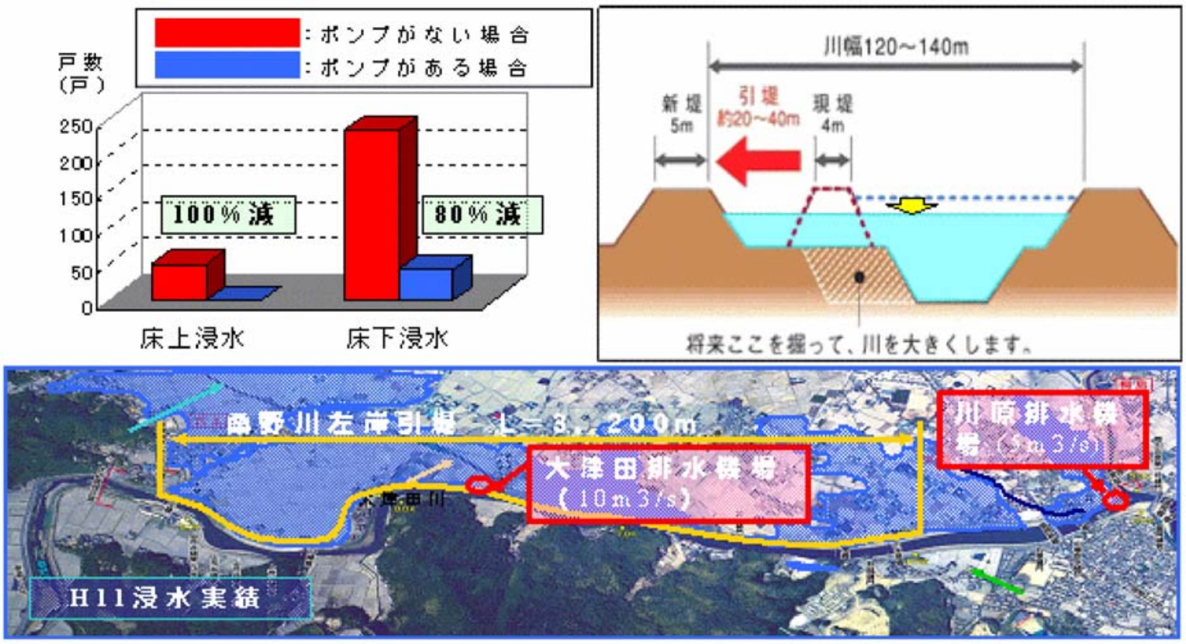
■桑村川床上浸水対策特別緊急事業の推進（直轄）

吉野川の桑村川流域で頻発する内水被害を軽減に向け、平成 21 年度完了を目指し、川島排水機場改築事業（12m3/s→18m3/s）を推進します。



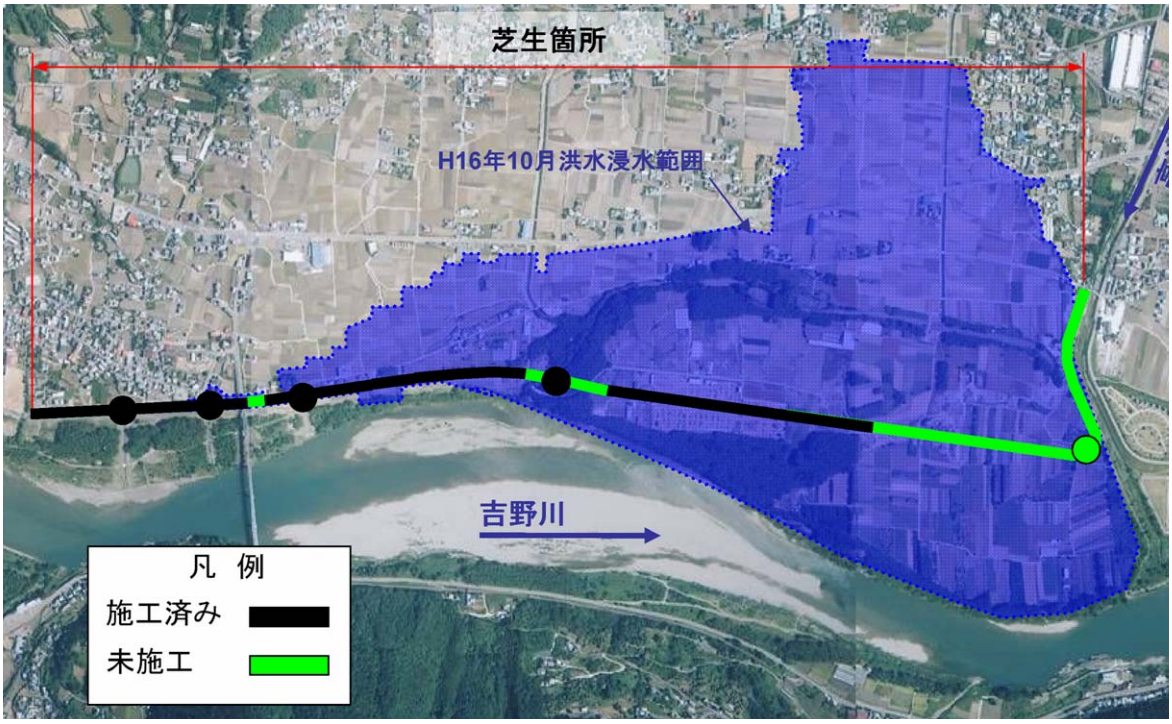
■桑野川左岸床上浸水対策特別緊急事業の推進（直轄）

桑野川の治水安全度向上と頻発する内水被害の軽減に向け、3.2km の引堤、排水機場の整備を実施しています。平成 20 年度完了を目指し、平成 19 年度は築堤、橋梁改築等を推進します。



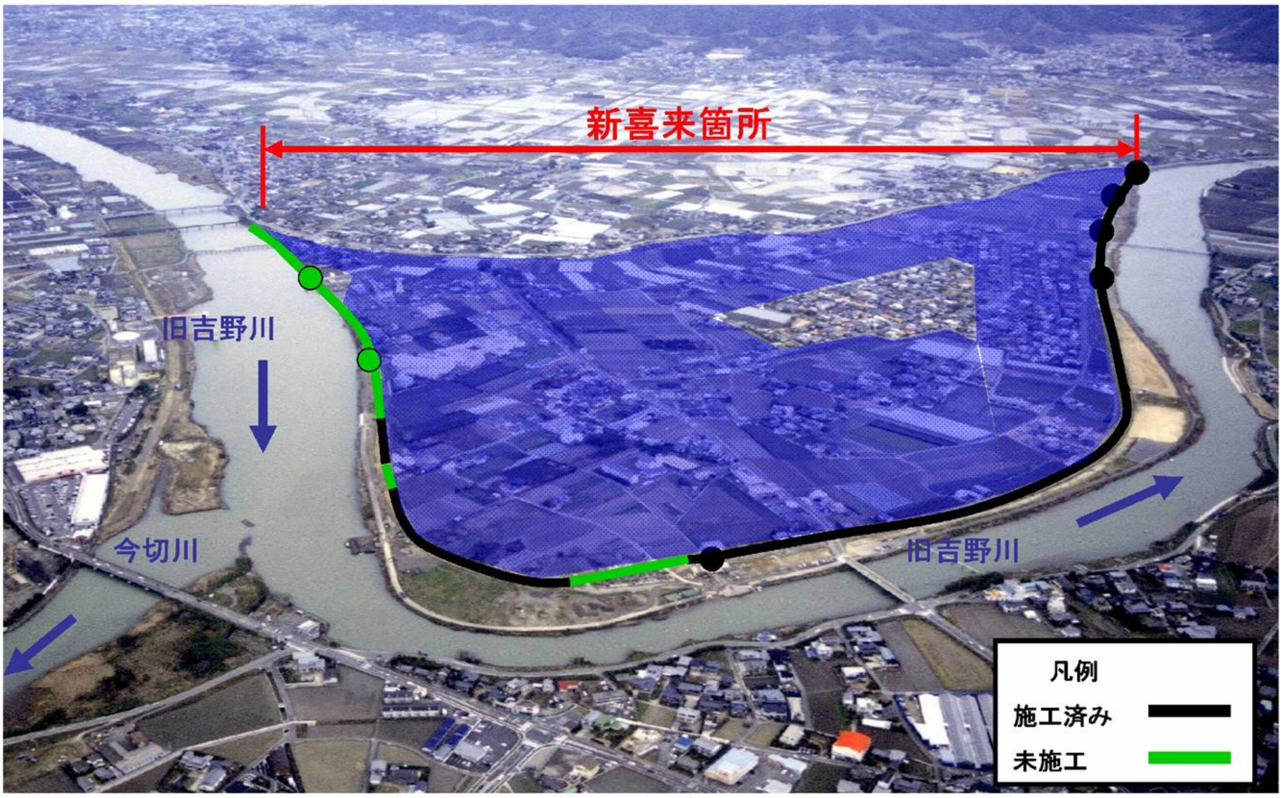
■吉野川上流における無堤部対策の推進（直轄）

洪水により浸水被害が頻発している吉野川上流の芝生箇所、加茂第一箇所において、築堤等を推進します。



■旧吉野川における無堤部対策の推進（直轄）

旧吉野川の治水安全度を向上させるため、新喜来箇所、中喜来箇所において、築堤等を推進します。



■吉野川における質的整備の推進（直轄）

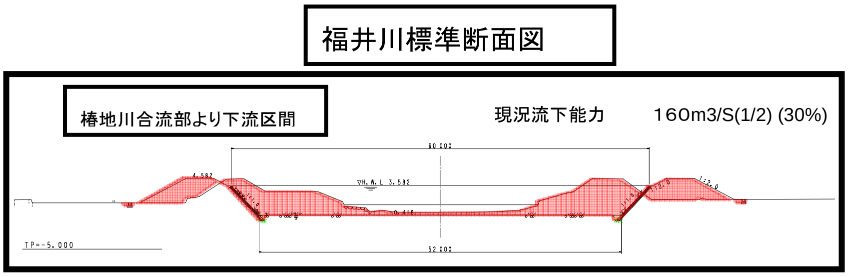
漏水被害が頻発している吉野川において、堤防の詳細点検結果を踏まえ質的整備を推進します。

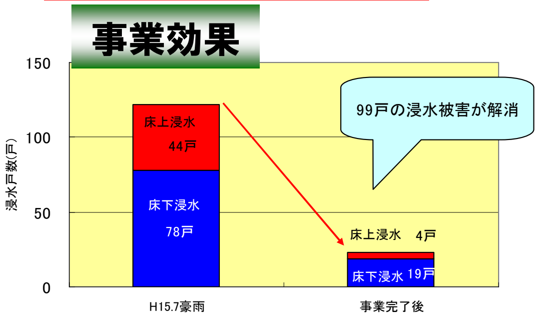
平成 19 年度は、上板箇所浸透対策を実施し、堤防強化を推進します。

注:写真のブランケット材料は、難透水性の土質材料

■福井川床上浸水対策特別緊急事業の促進（補助）

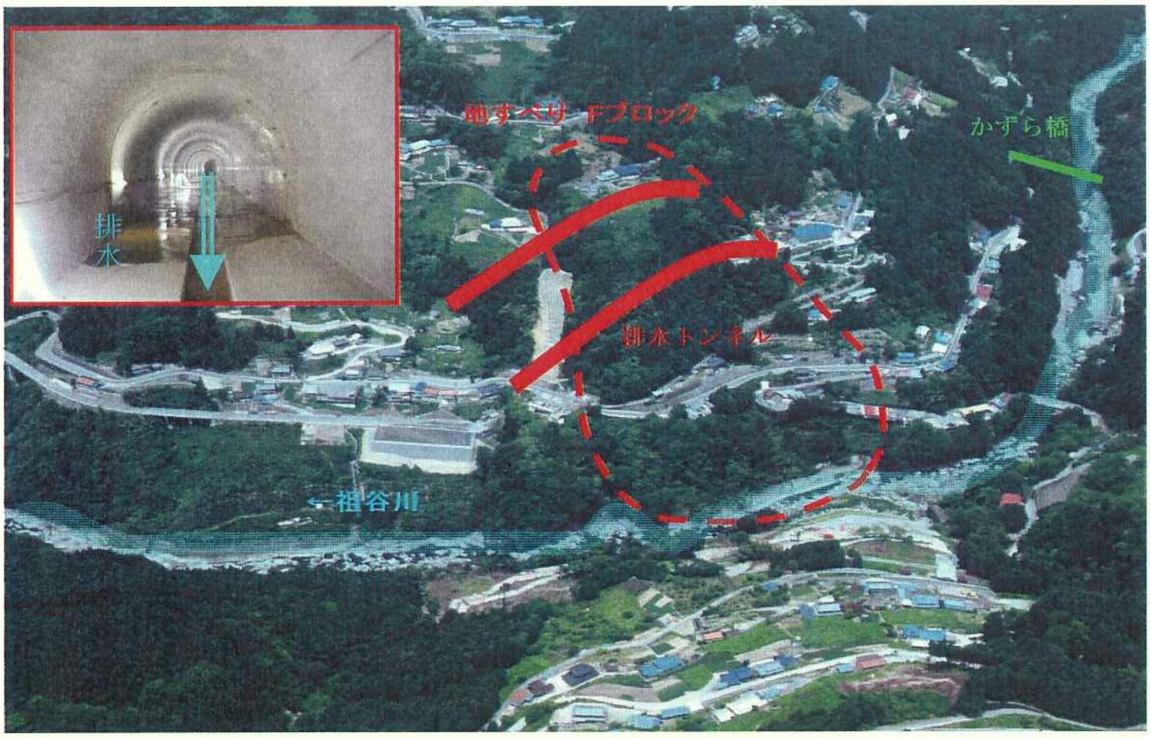
平成１５年７月洪水の床上浸水被害４４戸の概ね解消に向け、平成２０年度完成を目指し、福井川において大原堰の改築に着手し、護岸工等を促進します。





■吉野川水系　直轄地すべり対策事業～善徳地区～（直轄）

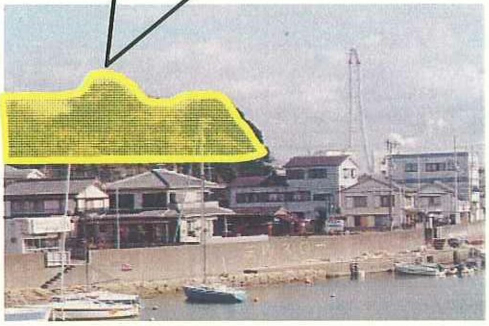
善徳地すべり地区は、日本でも最大級の破砕帯地すべり甚大な被害が発生するおそれがあります。このため、地下水排除工を鋭意実施しており、平成19年度は集水井3基、排水トンネル（2基完成予定）などの整備を推進します。



■急傾斜地崩壊対策事業の促進により津波からの避難場所の創出を支援（補助）

徳島県阿南市の西浦地区にて、阿南市が行う防災公園整備事業と連携し、がけ崩れから人家を保全するための切土工を実施し、津波避難場所も創出する急傾斜地崩壊対策事業を促進します。

がけ崩れの恐れのある急傾斜面から切土工により人家を保全するとともに、津波からの避難場所を創出



■四国横断自動車道（阿南市～徳島市）の事業推進（直轄）

平成１８年２月７日の第２回「国土開発幹線自動車道建設会議」において、新たに新直轄方式に切り替わる区間となった四国横断自動車道小松島市～徳島市を含めた阿南市～徳島市間について、早期工事着手に向け用地買収に着手します。

四国横断自動車道（阿南市～徳島市）
小松島IC周辺

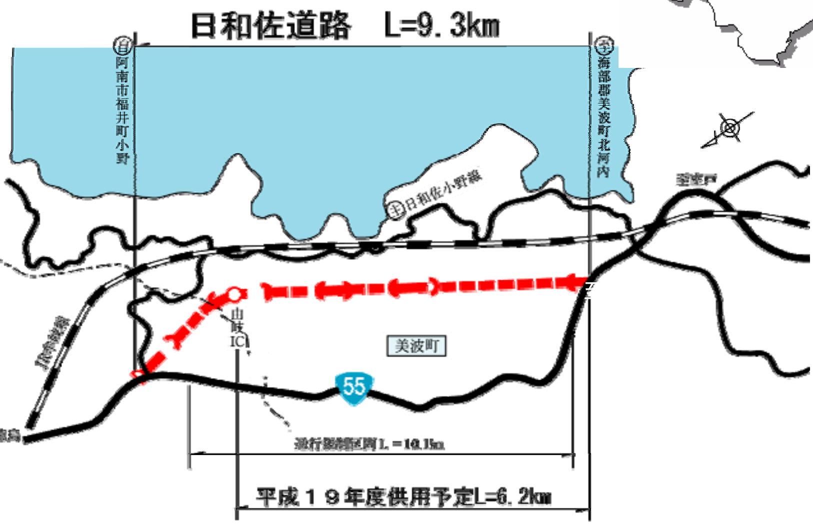
■地域高規格道路・日和佐道路で部分供用（直轄）

地域高規格道路「阿南安芸自動車道」の一環として、阿南市から海部郡美波町における線形不良及び異常気象時における事前通行規制区間の解消を目的に事業を進めている一般国道５５号日和佐道路の由岐 IC から美波町北河内において、延長６．２ｋｍの部分供用を図る予定です。

【事業概要】

- ○ 延長：L＝9．3km
- ○ 事業化年度：平成7年度

供用に向け工事の進む地域高
規格道路・日和佐道路

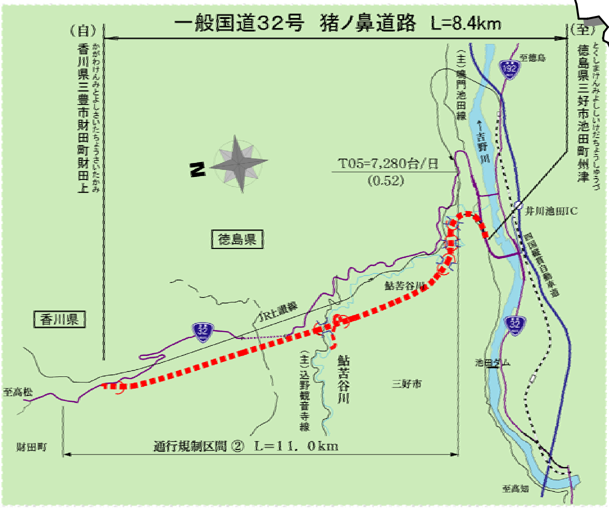


■一般国道３２号猪ノ鼻（いのはな）道路の事業推進（直轄）

香川・徳島県境に位置する猪ノ鼻峠の線形不良箇所や冬期における凍結・積雪による通行障害と異常気象時における事前通行規制区間の解消を目的に事業を進めている一般国道３２号猪ノ鼻道路において、早期の工事着手に向け用地買収に着手します。

一般国道32号猪ノ鼻道路　徳島県側

H16．10災害　香川県三豊市



■一般国道４３８号府能（ふのう）バイパスの完成供用（補助）

幅員狭小及び線形不良の隘路区間解消を目的として事業を進めている国道４３８号府能バイパスにおいて、延長５．０ｋｍの完成供用を図る予定です。

【事業概要】

- ○ 延長：L＝5．0km
- ○ 事業化年度：平成2年度

現道のトンネル

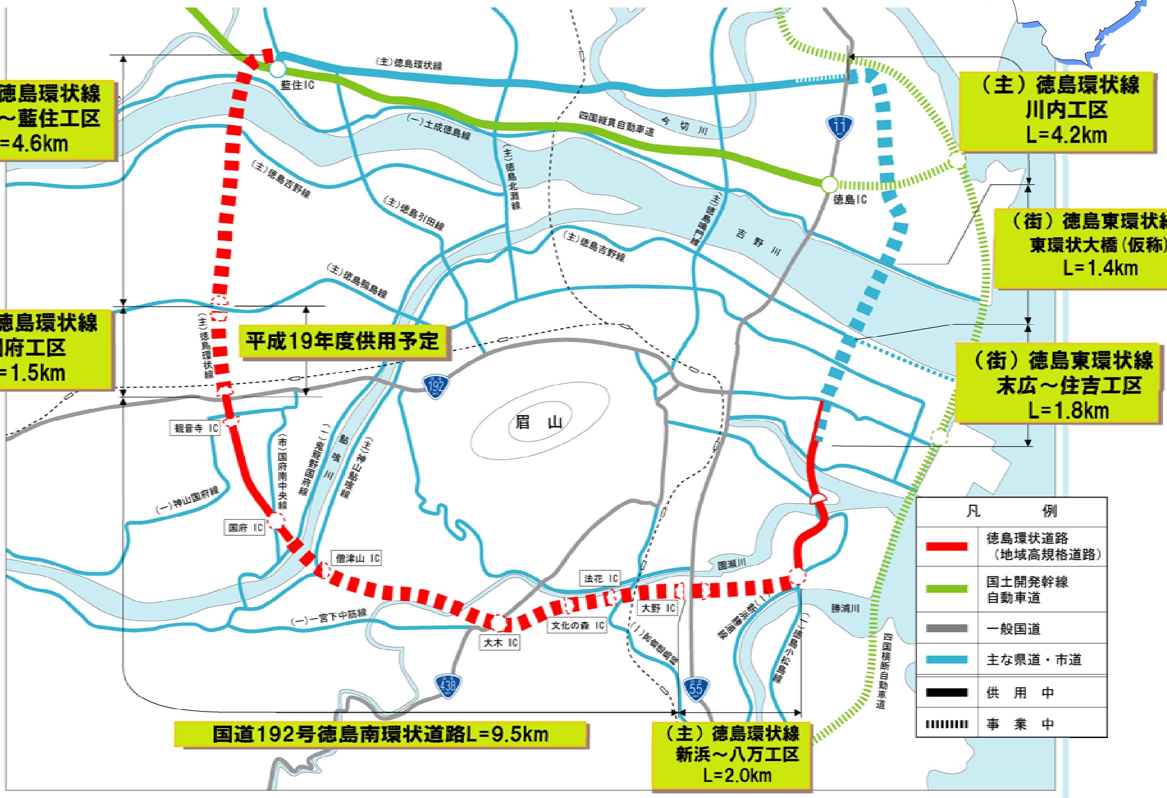
工事の進む府能トンネル

■徳島環状（とくしまかんじょう）道路の事業促進（直轄・補助）

徳島市中心部の交通渋滞の緩和及び交通安全の確保を目的に徳島環状道路の整備を促進します。

- 一般国道１９２号徳島南環状（とくしまみなみかんじょう）道路において、早期供用を目指し、用地買収及び橋梁・改良工事を推進します。（直轄）

- 主要地方道徳島環状線の国府（こくふ）工区において、一般部の延長１．５ｋｍの供用を図る予定です。また、徳島東環状線においても、早期の供用を目指し引き続き東環状大橋工事（上部・下部工事）等の促進を図ります。（補助）



工事の進む（主）徳島環状線
国府工区

国道 192 号徳島南環状道路
徳島市日比宇地区

工事の進む（街）徳島東環状線
東環状大橋（仮称）

■徳島飛行場における滑走路延長事業［2，500m化］の推進（直轄）

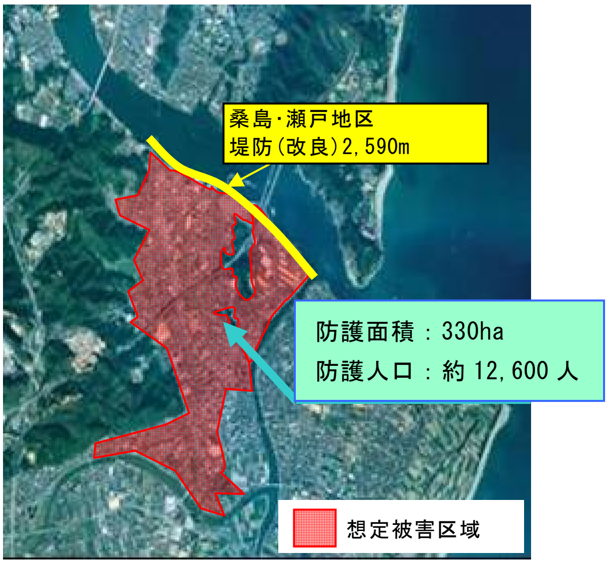
徳島県における航空需要の増大と地域経済の活性化に貢献するため、滑走路を５００ｍ延長する事業を引き続き推進します。平成 19 年度は用地造成概成に向け、事業進捗に努めます。

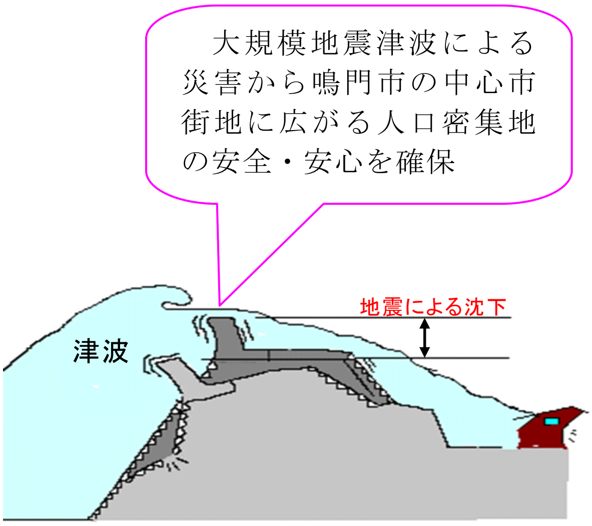
徳島飛行場全景写真

■撫養港海岸において大規模地震津波対策を推進（直轄）

（撫養：むやこう）

南海地震は、今後３０年以内に５０％程度の確率で発生すると予測されており、地震による堤防の沈下・倒壊を防ぎ、津波に対して背後の市街地を防護することを目的に堤防の整備を推進します。





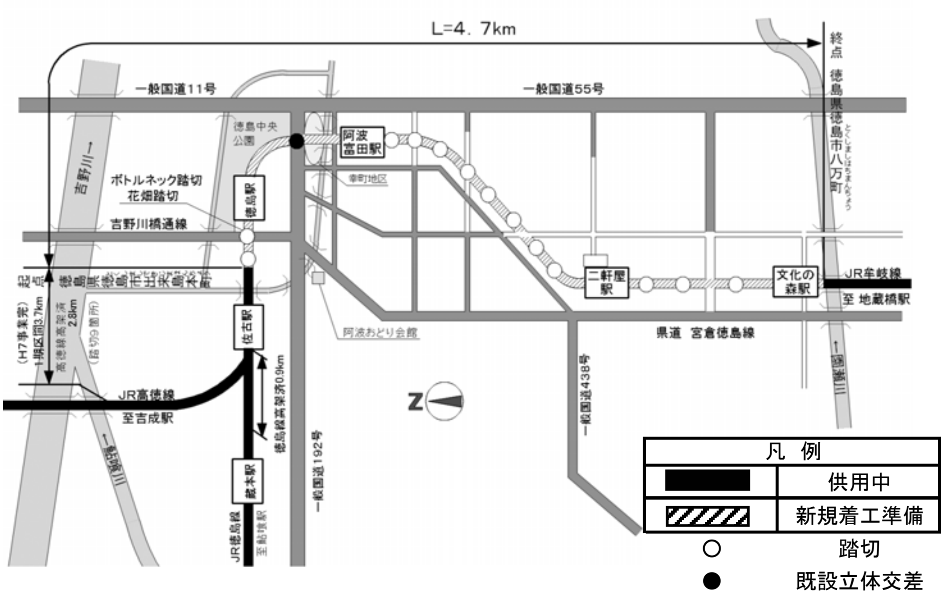
堤防（改良）の整備による防護効果

■ＪＲ高徳線（こうとくせん）・牟岐線（むぎせん）連続立体交差事業（徳島駅西～文化の森駅付近）の調査・設計の促進（補助）

平成１８年度に新規着工準備採択されたＪＲ高徳線・牟岐線連続立体交差事業において、都市計画決定等のための調査・設計を実施します。

【現状】

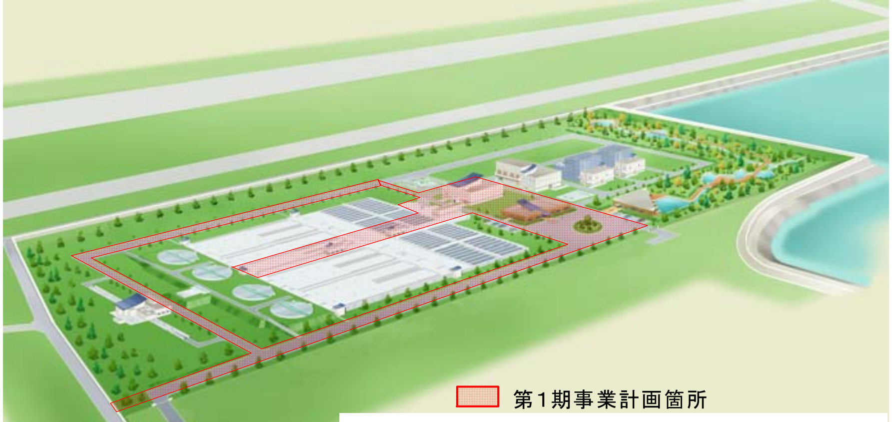
【完成イメージ】



■旧吉野川流域下水道の事業促進（補助）

徳島県の中核を担う２市４町（徳島市・鳴門市・松茂町・北島町・藍住町・板野町）の生活環境の向上、また、旧吉野川・今切川などの河川から瀬戸内海に至る公共用水域の水質改善を目的とした旧吉野川流域下水道の第１期事業の平成２０年度末の供用を目指します。

旧吉野川浄化センター（仮称）工事箇所

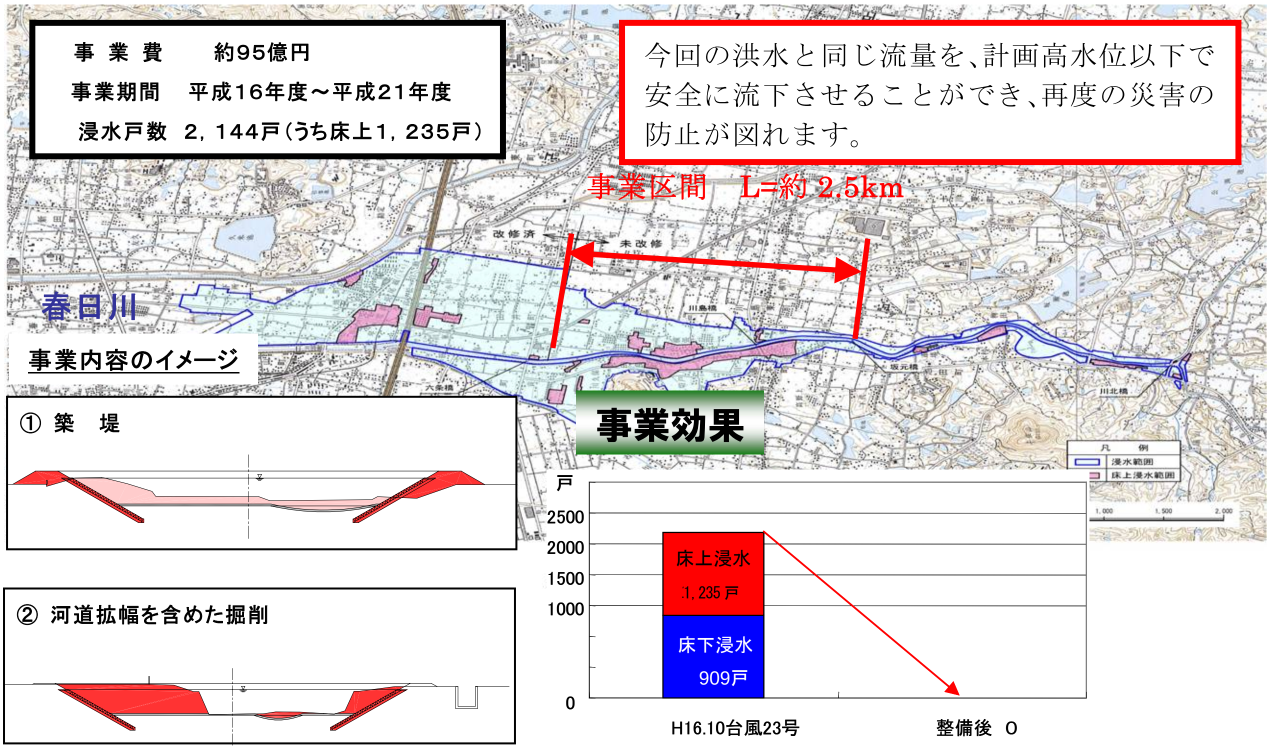


旧吉野川浄化センター（仮称）完成イメージ図

2．香川県

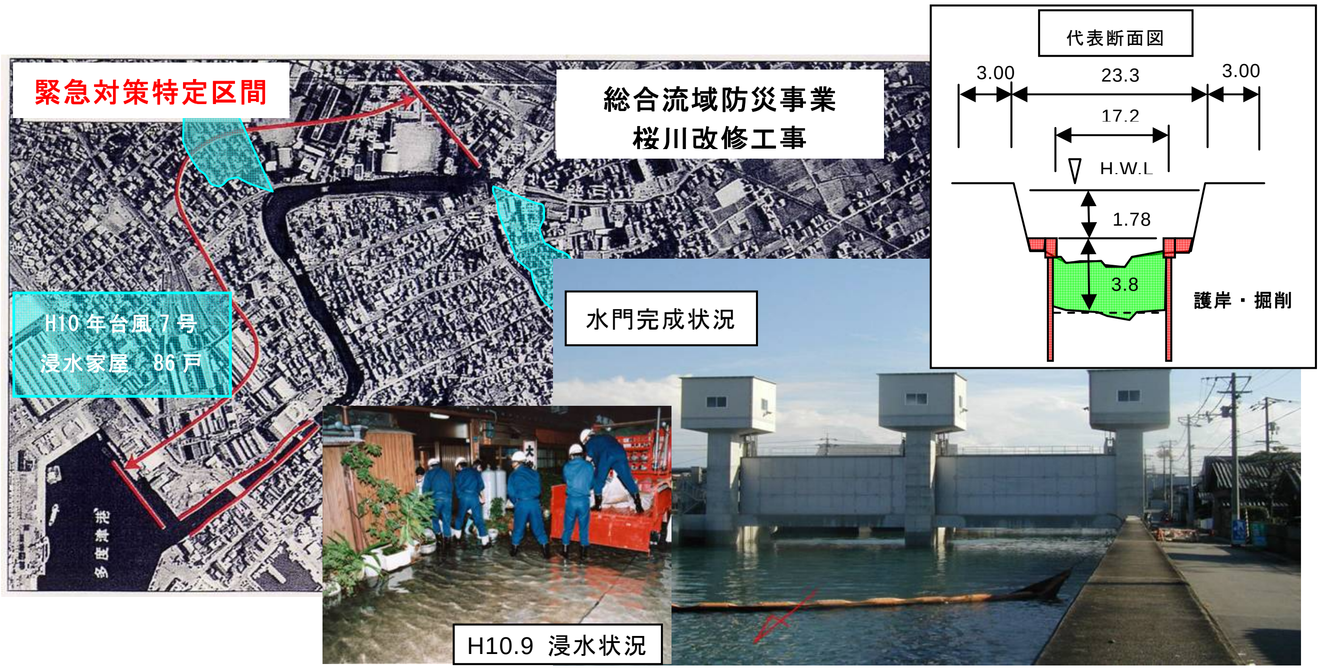
■春日川河川激甚災害対策特別緊急事業の促進（補助）

平成１６年台風２３号による出水で、激甚な被害を被った二級河川春日川において、平成２１年度完成を目指して河川激甚災害特別緊急事業を促進します。



■桜川緊急対策特定区間事業の促進（補助）

二級河川桜川において、平成２０年度完成を目指し、平成１０年出水と同規模程度の洪水による浸水被害の解消を目指します。



■砂防激甚災害対策特別緊急事業（さぬき市、東かがわ市、観音寺市）の促進（補助）

平成１６年に激甚な土砂災害が発生した香川県さぬき市、東かがわ市の１６渓流及び観音寺市（旧大野原町、旧豊浜町）の１７渓流の２地区にて砂防激甚災害対策特別緊急事業を平成１９年度に完成させることにより、約４００戸の人家を保全し土砂災害よりの再度災害防止に努めます。

・落合川、落合上川の土石流により、下流河川の橋梁が閉塞。
・せき上げされた河川水が落合自治会館に流れ込み、自主避難していた２名が死亡。

（おちあいがわ）
観音寺市　落合川

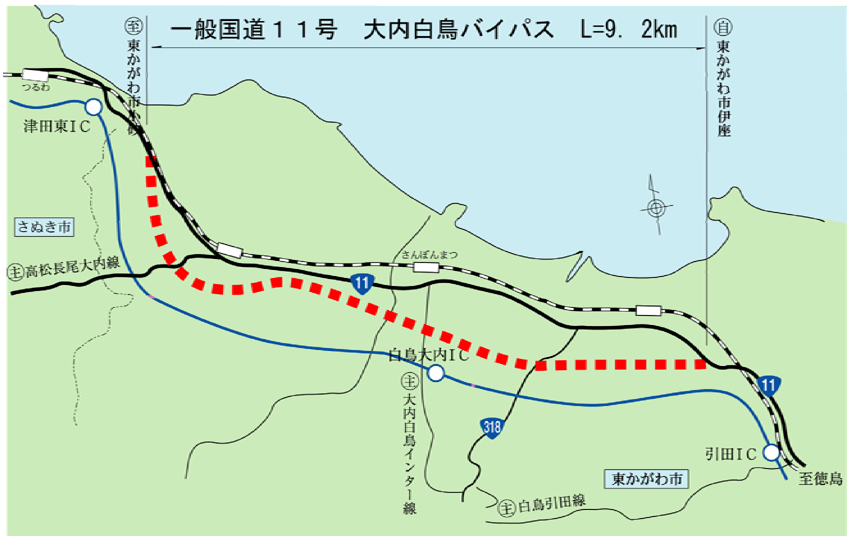
えん堤（災害関連緊急砂防事業）
渓流保全工（砂防激甚災害対策特別緊急事業）

■一般国道１１号大内白鳥（おおちしろとり）バイパスの事業推進（直轄）

東かがわ市における交通混雑緩和と交通安全の確保を目的に事業を進めている一般国道１１号大内白鳥バイパスにおいて、早期の工事着手に向け用地買収を推進します。

【事業概要】
○　延長：L＝9．2km
○　事業化年度：平成12年度

国道11号大内白鳥バイパス



■一般国道３２号綾南綾歌満濃バイパスの部分暫定供用（直轄）

交通混雑緩和と交通安全の確保を目的に事業を進めている一般国道３２号綾南綾歌満濃バイパスの丸亀市綾歌町岡田東から同市綾歌町岡田下において、延長０．８ｋｍの部分暫定供用を図る予定です。

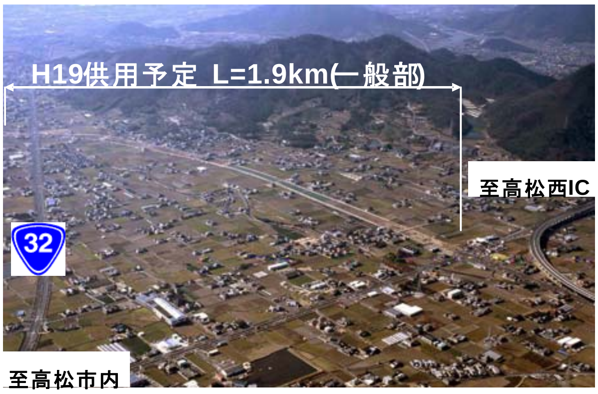
【事業概要】
○　延長：Ｌ＝２１．７ｋｍ
○　事業化年度：昭和４７年度

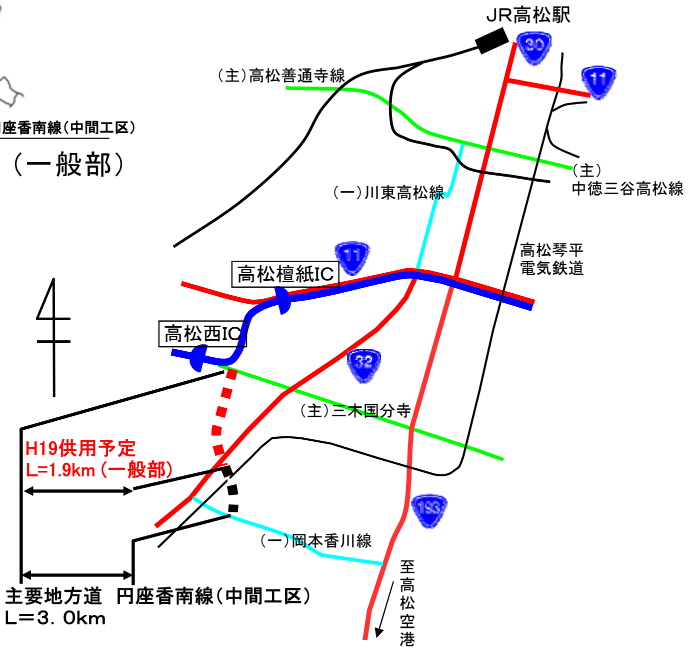
工事の進む国道32号綾南綾歌満濃バイパス綾歌工区

■主要地方道　円座香南線（中間工区）の一般部を供用（補助）

四国横断自動車道高松西ＩＣから高松空港に至る、地域高規格道路の主要地方道円座香南線（中間工区）において、高松市中間町から西山崎町間の一般部（延長１．９ｋｍ）を供用します。

【事業概要】
○事業延長：Ｌ＝３．０km
○事業化年度：平成１１年度
○H19年度供用予定：
高松市中間町～西山崎町　Ｌ＝１．９km（一般部）

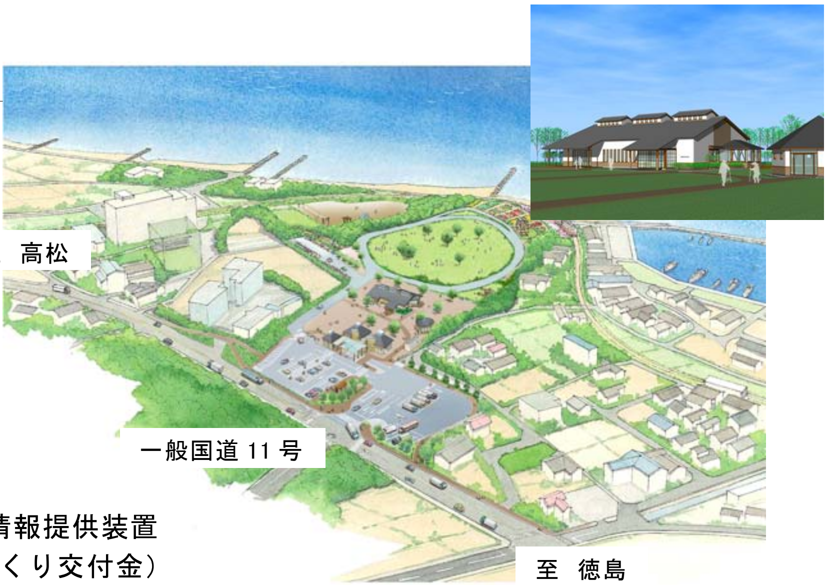




■道の駅「源平の里むれ」の供用（直轄・補助）

平成１７年度より整備を行っていた香川県高松市牟礼町房前地内の道の駅「源平の里むれ」が、平成１９年８月に供用となる予定です。

「源平の里むれ」では、道の駅の基本的機能である、休憩・情報発信・地域連携に加え、防災機能を備えた駅として、高松市と共同して整備を推進しています。

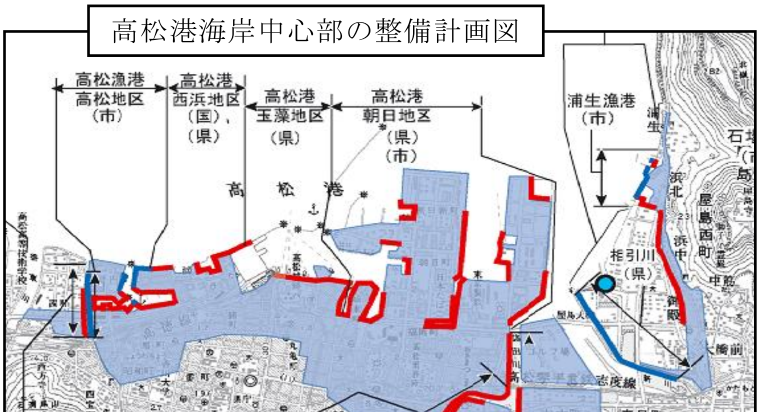


【概要】
路線名：一般国道１１号
施設面積：10,570 ㎡
道の駅施設
- 休 憩 施 設 ：国土交通省
  駐車場、トイレ、情報提供装置
- 地域振興施設：高松市（まちづくり交付金）
  特産品販売施設、軽食堂

■甚大な高潮災害に対する臨海部の緊急防護（補助）

平成 16 年 8 月 30 日の台風 16 号の来襲により、香川県内各地の海岸沿いの地域においては、大規模な高潮被害が発生しました。再度災害を防止する観点から、特に緊急に背後地を防護する必要性の高い高松港海岸及び土庄港海岸（新規）について、高潮対策の整備を促進します。

高松港海岸中心部の整備計画図



「津波・高潮対策整備推進アクションプログラム（平成 18 年３月）」（香川県策定）より

「台風 16 号による高松市内の高潮浸水状況」

凡　例
- Ⅰ期整備区域（概ね10年以内）
- Ⅱ期・Ⅲ期整備区域（概ね30年以内）
- 水門

■国営讃岐まんのう公園の一部開園（直轄）

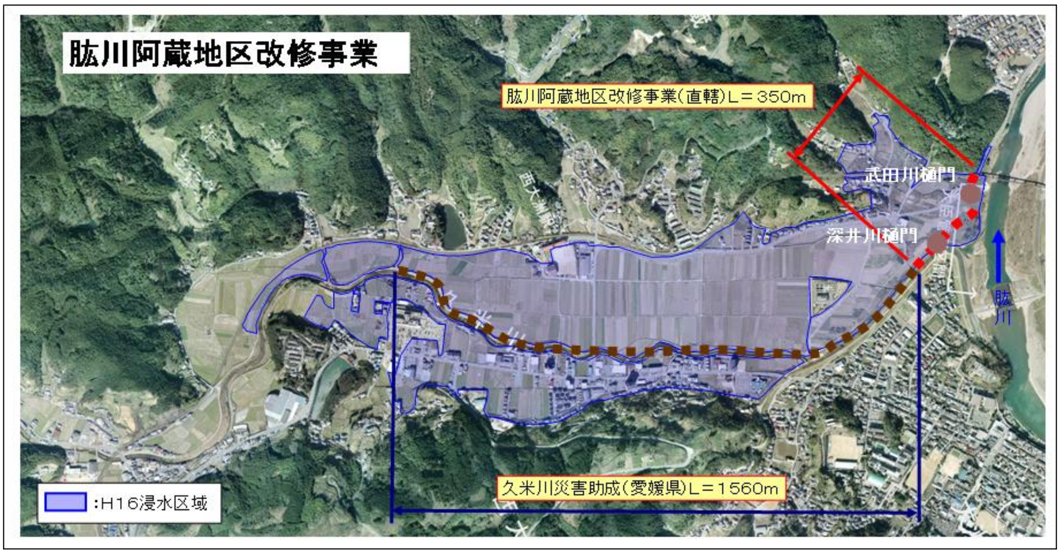
国営讃岐まんのう公園において、湖畔ゾーン一帯（湖畔ゾーン及び満濃池沿いの環境保全ゾーン）の平成１９年度末迄の開園を目指し、整備を推進します。

【国営讃岐まんのう公園】

３．愛媛県

■肱川阿蔵（あぞう）箇所（久米川）の推進（直轄、補助）

肱川阿蔵箇所においては、平成 16 年水害を契機に実施している国の河川改修事業と県の災害助成事業を一連区間として平成 19 年度に完了させます。本事業の完了により治水安全度を 1/5 から 1/15 へ向上させ、平成 7 年 7 月洪水（浸水面積 57ha、浸水家屋 128 戸）を安全に流下させせます。



■山鳥坂ダム建設事業の促進（直轄）

肱川流域の洪水被害を軽減するとともに、豊かで自然な流れを回復するため、山鳥坂ダム建設事業と鹿野川ダム改造事業の両事業を促進します。

平成１９年度は、環境影響評価を完了させた上で、工事用道路等に着手するとともに、平成１８年度の基本協定締結を受け、用地調査及び道路設計等を実施します。

山鳥坂ダム予定地周辺状況

ダムサイト付近状況

■鹿野川ダム改造事業の促進（直轄）

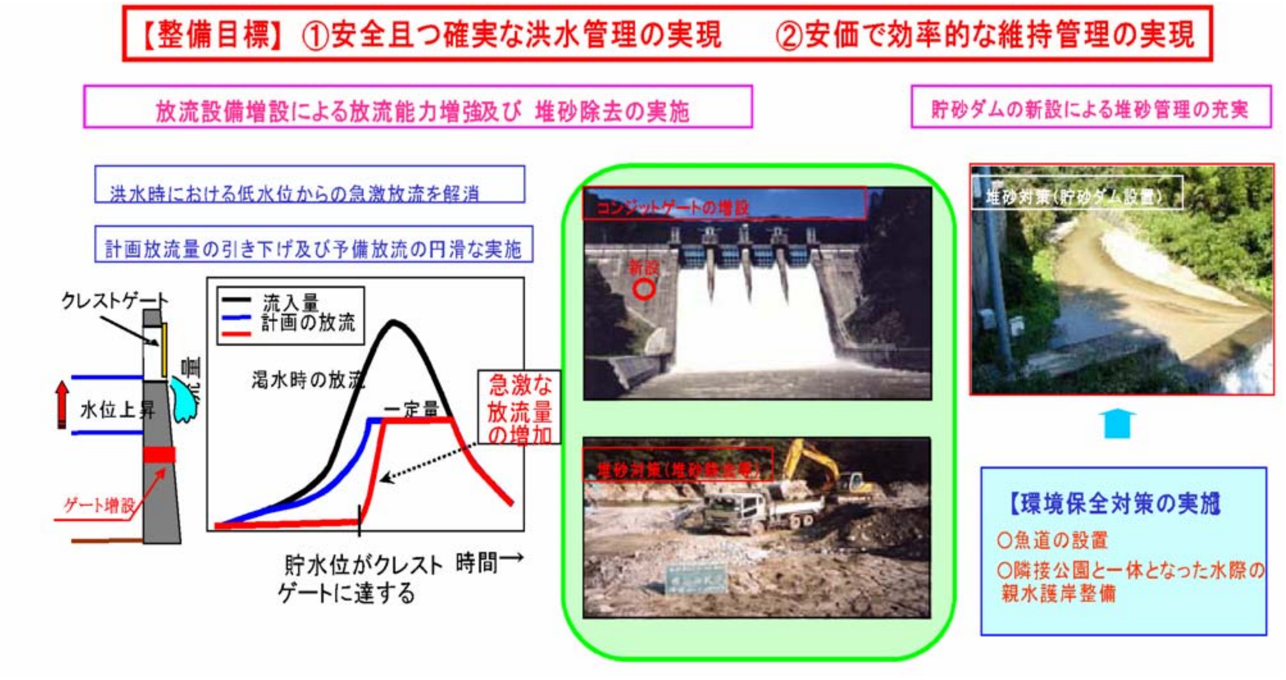
肱川流域の洪水被害を軽減するとともに、豊かで自然な流れを回復するため、山鳥坂ダム建設事業と鹿野川ダム改造事業の両事業を促進します。

平成１９年度は、クレストゲートの改造・庁舎の改築及びダム管理用制御処理設備の更新等、既設ダムの改造に着手するとともに、新たに設けるトンネル洪水吐に関する地質調査及び設計等を実施します。

鹿野川ダム改造事業イメージ

■柳瀬ダム堰堤改良事業の推進（直轄）

柳瀬ダムは、管理開始以来５０年あまりを経過したところであるが、放流能力の不足や計画以上の堆砂の進行などの緊急的な課題に対して、放流設備の増設及び抜本的な堆砂対策を実施し、将来にわたり安全かつ確実な洪水対応を行うとともに、効率的な維持管理を推進します。



■砂防激甚災害対策特別緊急事業（新居浜市、西条市、四国中央紙）の促進（補助）

平成１６年に激甚な土砂災害が発生した愛媛県新居浜市、西条市、四国中央市の４４渓流にて砂防激甚災害対策特別緊急事業を平成１９年度に完成させることにより、約８００戸の人家を保全し土砂災害よりの再度災害防止に努めます。

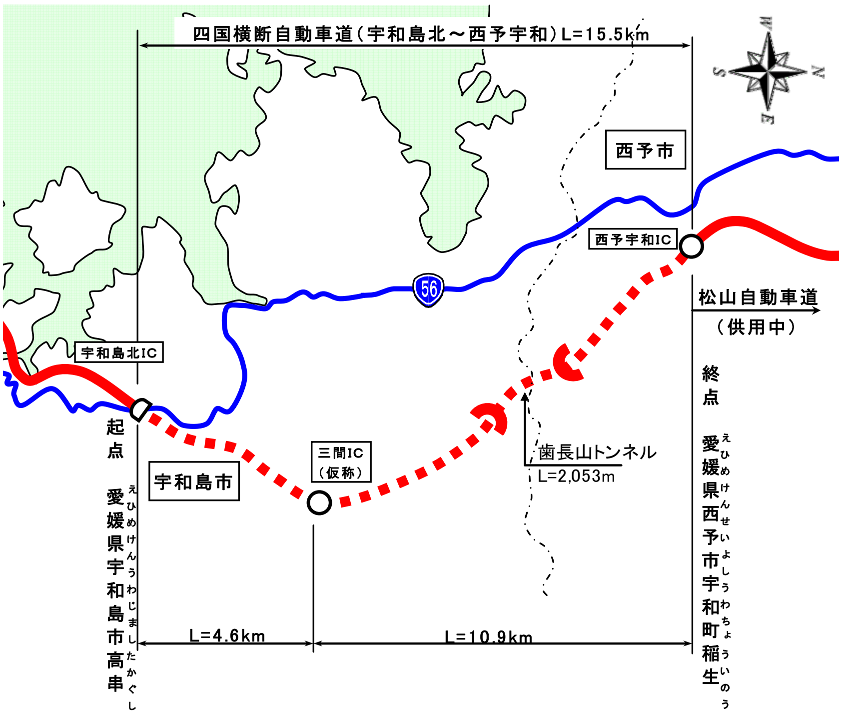
・西条市　早川（はいかわ）にて土石流が発生し１名が死亡。

（にしのごうがわ）
新居浜市　西の郷川

■四国横断自動車道（宇和島市～西予市）の事業推進（直轄）

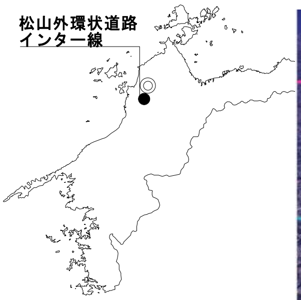
四国横断自動車道（宇和島市～西予市間）において、早期供用に向け歯長山（はながやま）トンネル（Ｌ＝２，０５３ｍ）工事及び橋梁・改良工事を推進します。

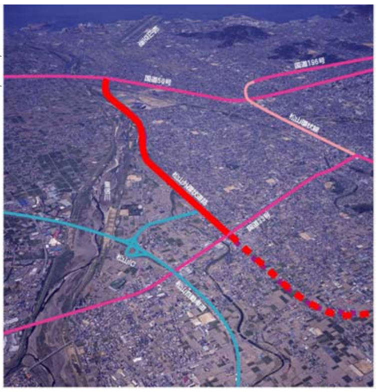
工事の進む歯長山トンネル



■地域高規格道路・松山外環状道路インター線の事業推進（直轄）及び関連事業の推進（補助）

松山都市圏における通過交通の排除と交通流の分散により交通混雑の緩和と交通の安全確保を図るとともに、四国縦貫自動車道松山ＩＣと松山空港、松山港とのアクセス強化を目的として整備を進めている、国道３３号松山外環状道路インター線において、早期の工事着手に向け用地買収を推進します。併せて、関連事業である側道部の用地買収も促進します。





■地域高規格道路・三坂道路の事業推進（直轄）

地域高規格道路・高知松山自動車道の一環として、異常気象時における事前通行規制区間の解消、線形不良及び冬期における積雪、凍結による通行障害の解消を目的として整備を進めている一般国道３３号三坂道路において、早期の供用に向け改良及び橋梁工事を推進します。

【事業概要】

- ○ 延長：L＝7．6km
- ○ 事業化年度：平成8年度

工事の進む地域高規格道路三坂道路
（三坂第一トンネル松山側坑口付近）

■一般国道５６号宇和島（うわじま）道路の事業推進（直轄）

宇和島市街の交通混雑の緩和、交通安全の確保とともに高速交通網の形成を目指して整備を進めている国道５６号宇和島道路において、早期供用に向け、用地買収及び工事を推進します。

【事業概要】

- ○ 延長:L＝17．5km
- ○ 事業化年度:昭和59年度

工事の進む宇和島道路
（宇和島市津島町高田地区）

■一般国道１１号川之江三島（かわのえみしま）バイパスの事業推進（直轄）

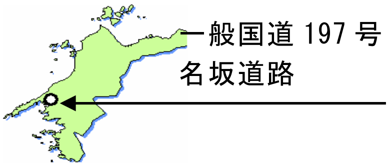
四国中央（しこくちゅうおう）市内の交通混雑緩和及び交通安全の確保を図るほか、四国縦貫自動車道三島川之江ＩＣとのアクセス強化を目的として事業を進めている一般国道１１号川之江三島バイパスにおいて、早期の供用に向け用地買収及び改良工事を推進します。

【事業概要】

- ○ 延長:L＝10．1km
- ○ 事業化年度:昭和47年度

■地域高規格道路　名坂（なさか）道路の全線暫定供用（補助）

地域高規格道路「大洲（おおず）・八幡浜（やわたはま）自動車道」の一環として、八幡浜市大平（おおひら）から八幡浜市保内町（ほないちょう）における異常気象時における事前通行規制区間及び線形不良の解消を目的として事業を進めている国道１９７号名坂道路において、延長２．３ｋｍの全線暫定供用を図る予定です。



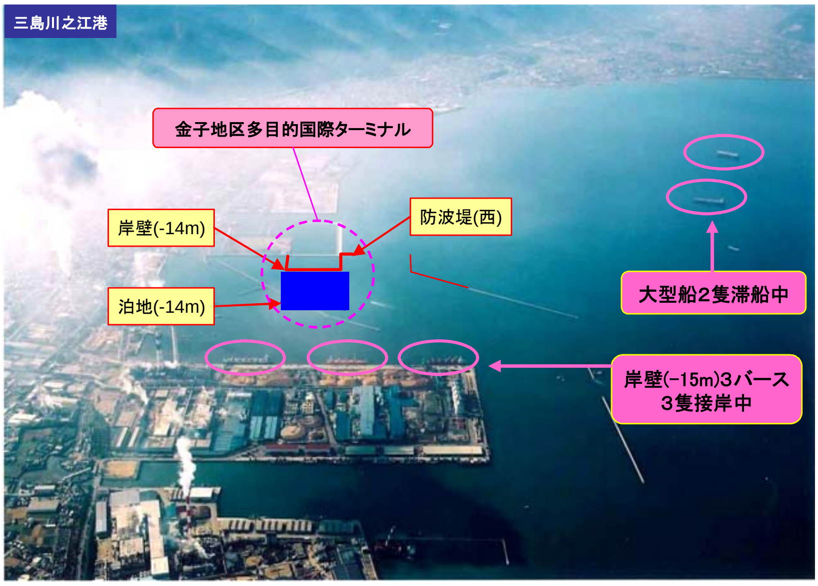
【事業概要】
- ○ 延長：L＝2．3km
- ○ 事業化年度：平成9年度

供用に向け工事の進む名坂道路

至宇和島市

■ 三島川之江港金子地区に多目的国際ターミナルの整備推進（直轄）

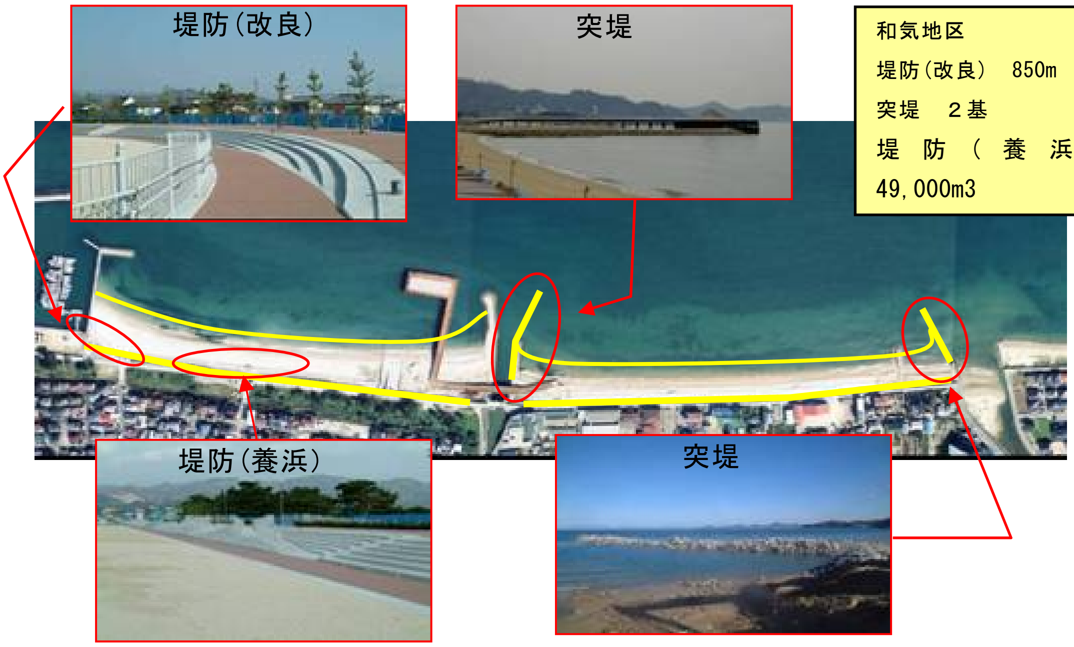
三島川之江港では、恒常的な滞船(岸壁の空き待ち)により非効率な物流形態を余儀なくされている。製紙産業を支えるパルプの輸入等の効率化を図り、地域の産業競争力強化に資するため、多目的国際ターミナル（水深１４ｍ）の整備を推進し、平成１９年度末の暫定供用を図ります。



三島川之江港金子地区における滞船状況

■松山港海岸における高潮対策事業の完了（直轄）

台風等の高潮被害に対し背後地への防護機能を確保するとともに、自然環境・海岸利用者に配慮した面的防護方式により高質な海岸整備を行ってきた松山港海岸において、平成19年度完了に向けて整備を推進します。



和気地区
堤防（改良）　850m
突堤　２基
堤　防　（　養　浜　）
49,000m3

■ＪＲ予讃（よさんせん）線連続立体交差事業（松山駅付近）の調査設計の促進（補助）

平成１６年度に新規着工準備採択されたＪＲ予讃線連続立体交差事業において、平成１９年度中の事業認可に向け調査・設計を実施します。

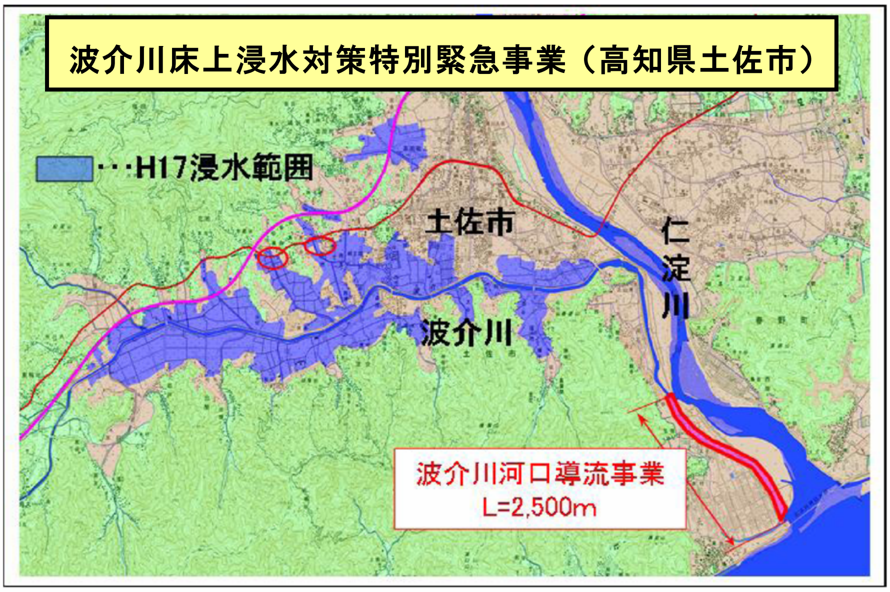
【現状】

【完成イメージ】

4．高知県

■波介川床上浸水対策特別緊急事業（直轄新規）

仁淀川水系波介川で実施中の「波介川河口導流事業」については、近年の洪水被害を踏まえ緊急的に再度災害の防止を図る必要が生じたことから、平成 19 年度より「床上浸水対策特別緊急事業」として移行し重点的に推進することにより平成 23 年度の事業完了を目指します。



【平成 17 年台風 14 号浸水状況】

■東南海・南海地震対策の推進（直轄）

東南海・南海地震に伴う津波遡上による家屋浸水被害を未然に防止するため、平成 19 年度より樋門・水門の耐震化に着手します。平成 19 年度は、四万十川津蔵渕水門の耐震補強を実施するとともに、物部川後川樋門では、全面改築に向け耐震設計を行います。

また、仁淀川新居樋門においては、ゲート閉操作の高速化・自動化を推進します。

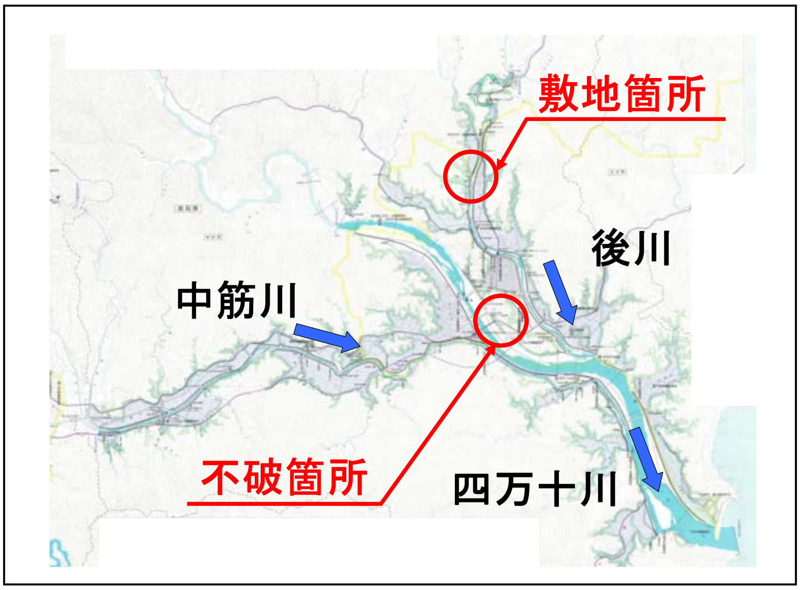
【物部川後川樋門】

【四万十川津蔵渕水門】

■四万十川、後川の無堤部対策の推進（直轄）

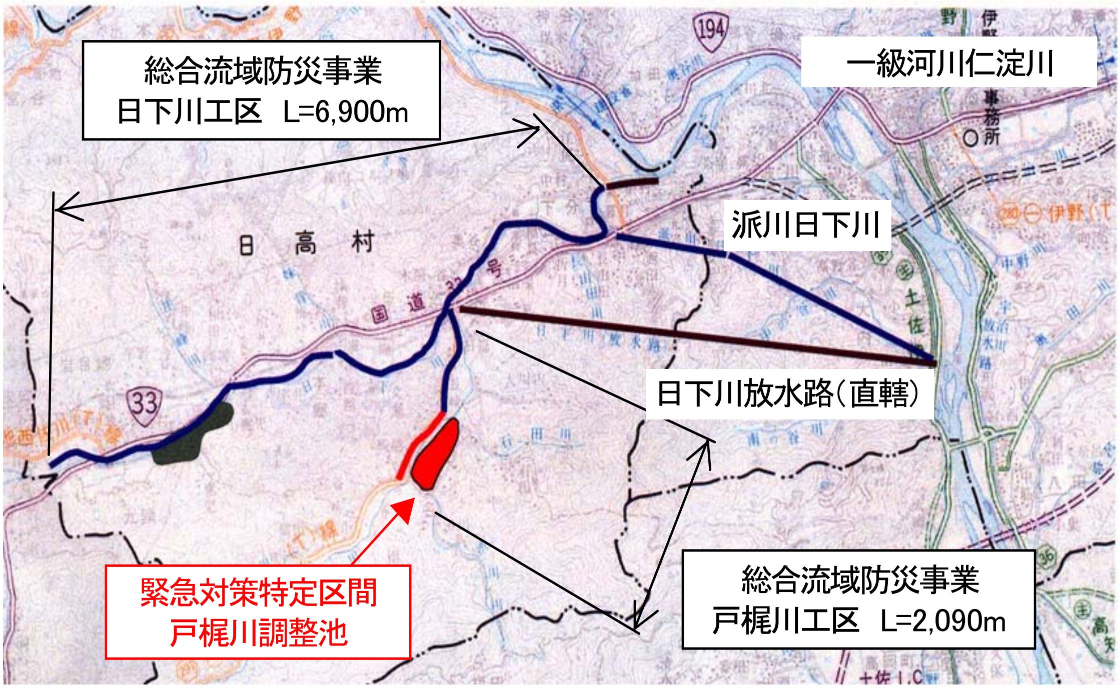
洪水により浸水被害が頻発している四万十川及び後川の無堤部対策を推進します。

平成 19 年度は、後川敷地箇所の無堤部対策を完了させるとともに、四万十川不破箇所の無堤部対策に着手します。



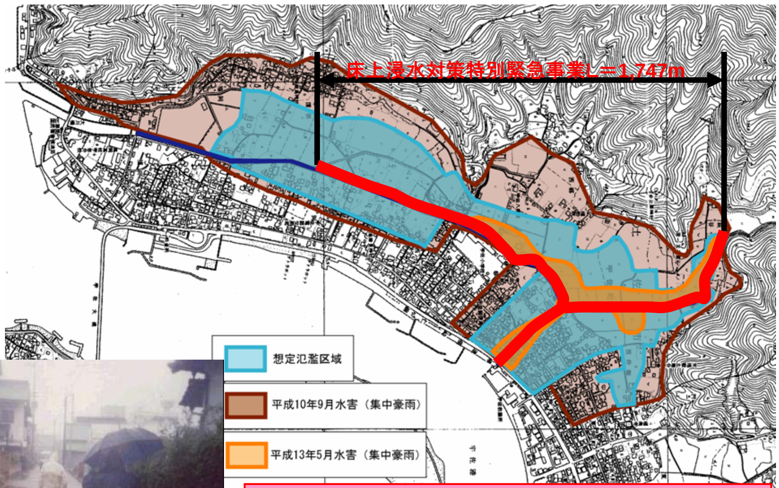
■日下川（くさかがわ）緊急対策特定区間事業の促進（補助）

平成１９年度完了を目指し、日高村を流下する日下川において、調整池の整備を促進します。本事業の完了により、昭和 50 年８月規模の浸水被害（浸水戸数 190 戸）を解消させます。



■萩谷川（はぎたにがわ）床上浸水対策特別緊急事業の促進（補助）

平成２０年度完了を目指し、土佐市を流下する萩谷川において床上浸水対策特別緊急事業を促進します。



近年、浸水被害が続いている。

発生年月日	床上浸水	床下浸水	合計
平成10年9月	151戸	290戸	441戸
平成13年5月	4戸	18戸	22戸

■横瀬川ダム建設事業の促進（直轄）

中筋川総合開発事業の一翼を担う横瀬川ダムの早急な完成を目指し、平成１９年度は、用地買収、環境影響検討等の諸調査を継続するとともに、付替道路等を実施します。

横瀬川ダム完成予想図

ダムサイト付近状況

■四国横断自動車道（須崎市～四万十町）の事業推進（直轄）

四国横断自動車道（須崎市～四万十町間）において、早期供用に向け新角谷トンネル（L=2,501m）及び焼坂第一トンネル（L=2,040m）工事や橋梁・改良工事を推進します。

新角谷トンネル抗口付近

中土佐インター付近

■一般国道５５号高知東部自動車道の事業推進（直轄）

高知中央生活圏と安芸地方生活圏の連携強化を図るほか、四国横断自動車道と接続し、広域交通ネットワークの形成を図ることを目的として整備を進めている高知東部自動車道のうち事業中の高知南国道路と南国安芸道路において、早期の供用に向け、用地買収及び工事を推進します。

工事の進む高知南国道路
（南国市西野々地区）

工事の進む南国安芸道路
（手結山第1トンネル坑口周辺）

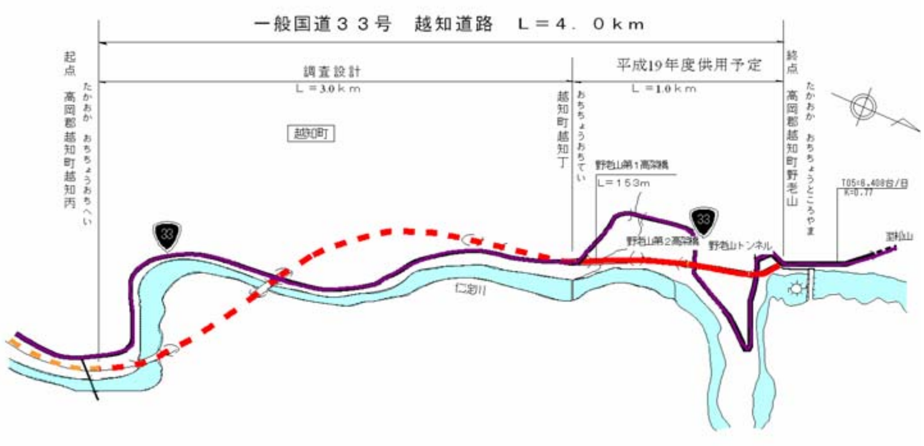
■地域高規格道路・越知（おち）道路で部分供用（直轄）

地域高規格道路「高知松山（こうちまつやま）自動車道」の一環として、高岡郡越知町（たかおかぐんおうちちょう）における線形不良及び異常気象時における事前通行規制区間の解消を目的に事業を進めている一般国道３３号越知道路の越知町越知丁（おうちちょうおちてい）から越知町野老山（おちちょうところやま）において延長１．０ｋｍの部分供用を図る予定です。

【事業概要】

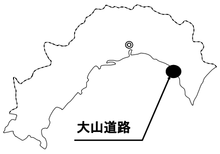
- ○ 延長:L＝4. 0km
- ○ 事業化年度:平成8年度

工事の進む地域高規格道路・
越知道路　野老山第一高架橋



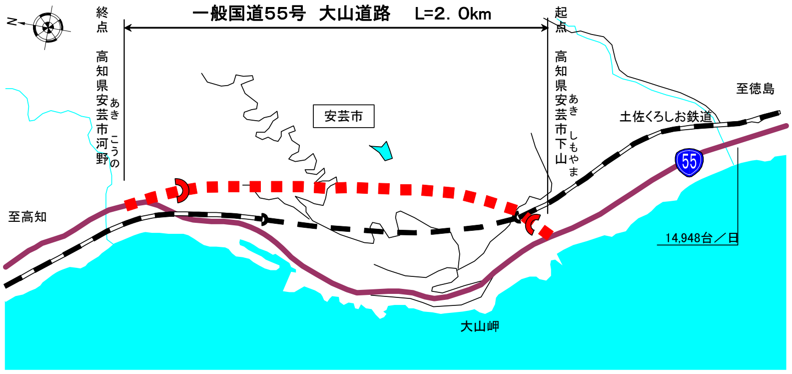
■地域高規格道路・大山（おおやま）道路の事業推進（直轄）

災害時の交通途絶を回避するとともに地域高規格道路「阿南安芸（あなんあき）自動車道」の一環として高知東部地域の新たな連携軸の構築を目的に事業を進めている国道５５号大山道路において早期の工事着手に向け用地買収を推進します。



【事業概要】

- ○ 延長:L＝2. 0km
- ○ 事業化年度:平成16年度



H10.5.16　被災状況

■一般国道５６号中村宿毛（なかむらすくも）道路の事業推進（直轄）

四万十（しまんと）市から宿毛（すくも）市間の現道の交通障害の解消と高速交通網の形成を目的として事業を進めている一般国道５６号中村宿毛道路において、早期供用に向け用地買収及び工事を推進します。

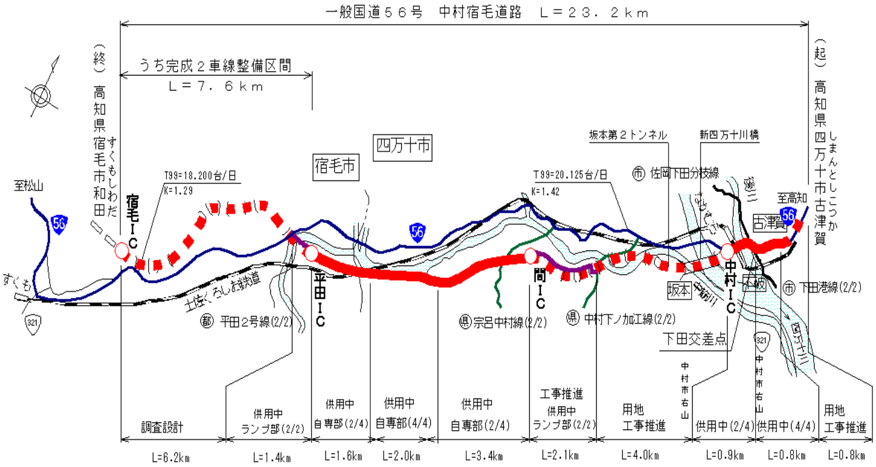
工事の進む具同高架橋

新四万十川橋の状況

【事業概要】

○　延長:L＝23．2km

○　事業化年度:昭和51年度



■一般国道４４０号梼原町（ゆすはらちょう）拡幅の完成供用（補助）

幅員狭小及び線形不良の隘路区間解消を目的として事業を進めている国道４４０号梼原町拡幅において、延長０．８ｋｍの完成供用を図る予定です。

これにより、梼原町と地域住民が協働した景観に配慮した道路空間が整備されます。

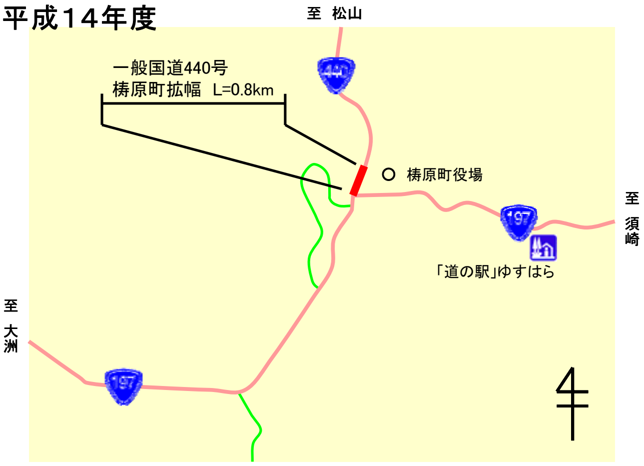
【事業概要】

○　延長:L＝0．8km

○　事業化年度:平成14年度

着手前

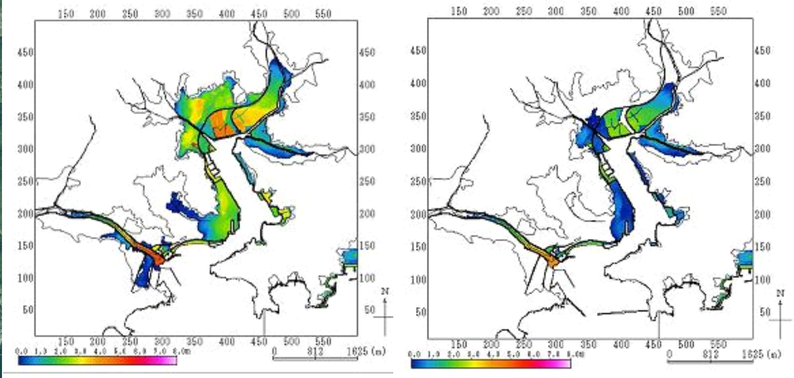
完成イメージ



■須崎港津波防波堤の整備推進（直轄）

須崎港湾口地区において、津波による背後地の甚大な被害を軽減するとともに、港内静穏度の向上を図るための防波堤整備を平成２０年代前半の完成を目指して整備を推進します。

津波による浸水深予測



注釈）右図の浸水深予測は、昭和南海地震M8.0、潮位DL+1.9m時を想定している。

【整備前（防波堤無し）】		【整備前（防波堤有り）】
・浸水面積　約1,337千m2 ・浸水家屋数　約4,300戸	⇒	・浸水面積　約622千m2 ・浸水家屋数　約2,100戸

■ＪＲ四国土讃線（どさんせん）連続立体交差事業（高知駅付近）の整備促進（補助）

県都高知市の陸の玄関口となるＪＲ高知駅周辺の再生を総合的に推進するＪＲ四国土讃線連続立体交差事業において、引き続き、平成２０年３月の高架線開通に向け、軌道・電気工事を促進します。

【整備状況】

【高知駅周辺整備状況】

【完成イメージ】